

新しい薬学をめざして

Vol. 52 No. 8
2023.11.1

発行 新薬学者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8

E-mail sigma-info@faruma.co.jp

一般社団法人大阪ファルマプラン 気付

郵便振替口座 01090-8-16463

TEL 06-6477-8088 (担当 廣田) FAX 06-6477-8090 URL <http://pha.jp/shin-yakugaku/>

新薬学者集団 2023 年度講演会



731 部隊と大学 (2) —薬学者も参画—

吉中文志

731部隊を創設した石井四郎

731部隊を主導した石井四郎は1892年に千葉県で生まれました。母の千代は上田藩の藩医の娘でした。石井は第四高等学校（金沢）から京大医学部へ進み、1920年に28歳で卒業しました。この年の卒業生は82名です。多くの中国人が日本の大学で学んだ時代で、同級生には中国人の名前も見受けられます。

卒業後石井は陸軍軍医学校（以下、軍医学校）へ入学します。当時、東大や京大などの帝国大学や官立医学校から多くの卒業生が受験しており軍医学校は狭き門でした。入学定員は百人に満たず東大や京大からの合格者も各々4、5名程度でした。石井は1921年4月に二等軍医（中尉相当）に任官し、8月には東京第1衛戍病院（戦後は厚生省に引き継がれ、現・国立国際医療研究センター）に勤務しました。

石井は1924年に陸軍から派遣されて京大医学部微生物学教室の大学院へ入学します。教授は清野（病理学教室教授兼任）でした。「グラム陽性双球菌について」という論文で医学博士号を取得（1927年）しています。1928年に石井の一つ上の世代の木村廉が微生物学教室の教授になりました。こうして石井は清野と木村の二人の教授とつながりました。

石井は京大総長であった荒木寅三郎（生化学）の娘、清子と結婚します。荒木は東大医学部出身で後輩に長與又郎（病理学、後に東大総長）がいました。長與は清野、川上漸（京大病理、後に慶大病理教授）、戸田正三、金関丈夫（京大解剖、後に台北帝大教授）らと交流があり石井ともつながっていました。長與は京都で開催された第十回医学会総会（1938年）で石井の戦地実況活動写真を鑑賞し、ハルビンの731部隊も訪問しています。石井は京大、軍医学校を経て東大へと人脈を広げていきましたが、それは731部隊発足前から形成されていた三者の

目 次

□731 部隊と大学 (2) —薬学者も参画—	□医薬品（後発品）供給不足問題について（その2）
吉中文志……………217	里見佳子, 野村充代, 緒方信明, 寺岡章雄……………238
□有機塩素系環境汚染物質の母乳移行に関する研究	□玉枝の平和だよりから (20)
池上幸江……………221	新たな公害に立ち向かう！PFAS（ピーファス、有機フッ素化合物）汚染について 穂久秀明……………244
□福島の間（その91） 佐藤政男……………224	□2023 年度第5回運営委員会報告……………245
□医薬品等・行政評価監視委員会の活動内容（その6）	
里見佳子, 緒方信明, 野村充代, 寺岡章雄……………230	